

## 総務常任委員会 所管事務調査報告

**調査日** 5月10日  
**調査対象** 教育委員会事務局、市民福祉部の所管事業

- 調査内容**
1. 地域部活動化に向けた進捗と関係者との調整状況
  2. 社会福祉連携推進法人の立上げの具体的な取り組み



市民福祉部職員から説明を受ける委員

## 産業常任委員会 所管事務調査報告

**調査日** 5月15日  
**調査対象** 環境水道部、商工観光部、農林部の所管事業

- 調査内容**
1. ゼロカーボンシティの概要
  2. 商工観光部事業とヒダスケのかかわり
  3. 広葉樹のまちづくりの進捗状況
  4. 吉城コンポとのかかわり



農林部職員から説明を受ける委員

## 議員研修会を開催

5月18日、市とつながりがある大正大学教授の江藤俊明先生を招き、地方議会の進むべき姿（一般質問をどのように行い市民の意見反映に結びつけるのか）と題し、議員研修会を開催しました。

江藤先生からは、議員のあるべき姿や、最終決定するのは議会なのだから、それくらい重要な責務であることを講義され、まさに目から鱗が落ちる内容でした。



江藤先生の講義の様子

## 古川小学校6年生、古川西小学校6年生の児童が議場見学

社会科の授業の一環として、議会の仕組みや役割について学習するため、5月31日には古川小学校6年生の児童80名、7月4日には古川西小学校6年生の児童56名が、議場を見学に来ました。

住田議長や事務局職員の説明を受けた後、議長席や議員席、市側の席など自分が好きなのところに座り議場を体験しました。見学の中では一般質問席に立ち、モニターに映し出される自分の姿に驚嘆したり、模擬議会で市側の席に立ち発言をするなど議場の雰囲気をついに十二分に堪能していました。

これからの飛騨市を担っていく子どもたちにとって、議会が少しでも身近な存在になってほしいですね。



議長から説明を受ける古川小学校児童



市側の席に立ち発言をする古川西小学校児童